

平成26年度
横浜市立高等学校
及び
南高等学校附属中学校
第三者評価結果

横浜市教育委員会
高校教育課

< 目 次 >

| | |
|--------------------------------------|----|
| I 「横浜市立高等学校及び南高等学校附属中学校」学校評価の体系…………… | 1 |
| II 平成 26 年度第三者評価について…………… | 2 |
| 1 実施概要 | |
| 2 評価者及び訪問調査校 | |
| III 訪問調査校の評価…………… | 3 |
| 1 みなと総合高校…………… | 4 |
| 2 横浜総合高校…………… | 8 |
| 3 戸塚高校定時制…………… | 12 |
| 4 横浜商業高校別科…………… | 16 |

I 「横浜市立高等学校及び南高等学校附属中学校」 学校評価の体系

市立高校及び附属中学校は、学校評価の基本である全教職員による自己評価と生徒の保護者や地域、その他学校関係者等による学校関係者評価を行うとともに、年間3～4校に対し教育活動その他の学校運営について外部の専門家等による第三者評価を行います。

市立高校及び附属中学校学校評価は、次の手順で実施します。

1 自己評価

各学校は、校内評価委員会を組織します。校内評価委員会は、教職員による学校評価、生徒による学校評価、授業評価、保護者及び地域による学校評価を組織的に行い、評価結果の分析により課題を明らかにするとともに、学校関係者評価の結果を踏まえ、重点課題の改善策を中心に「自己評価書」を作成します。

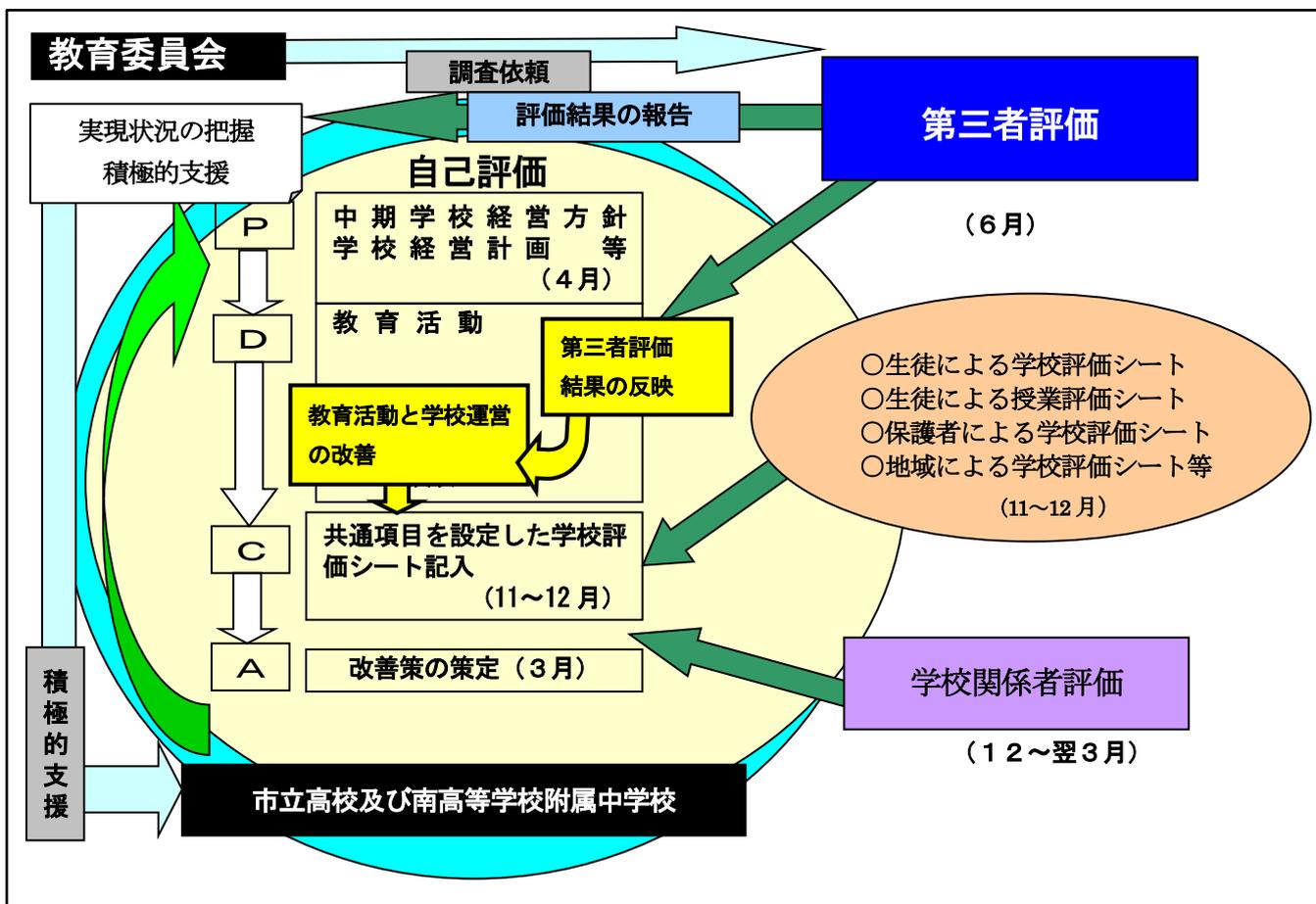
2 学校関係者評価

各学校は、学校関係者評価を実施するため、生徒の保護者や地域、その他学校関係者等によって構成される学校関係者評価委員会を組織します。学校関係者評価委員会は、各学校でまとめた評価の結果等を活用するとともに、授業や学校行事等の教育活動を観察し、「学校関係者評価書」を作成します。

3 第三者評価

教育委員会は、第三者評価を実施するため、学校運営に関する外部の専門家等による評価者（以下「第三者評価者」という。）に調査を依頼します。第三者評価者は、教育活動その他の学校運営について、年間3～4校の訪問調査を行います。調査結果は教育委員会が取りまとめます。

＜市立高校及び附属中学校 学校評価の体系図＞



II 平成 26 年度 第三者評価について

1 実施概要

(1) 実施方法

- ア 原則 1 人の評価者が複数の学校を訪問し、評価を行うこととします。
- イ 1 校につき 3 人の評価者が訪問し、評価します。
- ウ 評価者は、25 年度の「自己評価書」「学校関係者評価書」及び 26 年度「学校経営計画」について主に重点取組項目を中心に校長から説明を受けた後、授業参観、施設・設備の観察、教職員（校長・副校長・教務主任等）及び在校生からのヒアリング等を通して評価します。
- エ 教育委員会は、評価者からの評価と講評をとりまとめ、第三者評価結果を作成し、公表します。

(2) 訪問調査校及び日程

ア 平成 26 年度訪問調査校

みなと総合高校、横浜総合高校、戸塚高校定時制、横浜商業高校別科

- | | | | |
|---|-----------|---|---|
| { | ・平成 27 年度 | 金沢高校、横浜サイエンスフロンティア高校、 桜丘高校、南高校及び南高校附属中学校 | } |
| | ・平成 28 年度 | 戸塚高校、東高校、横浜商業高校 | |

イ 平成 26 年度実施日程

6 月 19 日：みなと総合高校、6 月 24 日：横浜総合高校、6 月 25 日：戸塚高校定時制
6 月 27 日：横浜商業高校別科

(3) 活用

- ア 学校は、評価結果を教育活動及び学校運営の改善に反映させます。
- イ 教育委員会は、各学校の教育環境の改善に向け、必要な措置を講じていきます。

2 評価者及び訪問調査校（五十音順）

| 評価者氏名 | 所 属 等 | 訪問調査校 |
|---------|--------------------|---------------------|
| 生田 麻実 | 横浜市 P T A 連絡協議会副会長 | 横浜商業高校別科 |
| 植田 みどり | 国立教育政策研究所総括研究官 | 横浜総合高校 横浜商業高校別科 |
| 落合 優 | 横浜創英大学教授 | みなと総合高校 横浜商業高校別科 |
| 小松 郁夫 | 常葉大学教職大学院教授 | 横浜総合高校 戸塚高校定時制 |
| 北湯口 多賀子 | 横浜市立東永谷中学校長 | みなと総合高校 戸塚高校定時制 |
| 坂野 慎二 | 玉川大学大学院教育学研究科教授 | 戸塚高校定時制 |
| 鈴木 一男 | 株式会社ダイイチ 代表取締役社長 | みなと総合高校 横浜総合高校 |

※所属等は調査時のものです。

Ⅲ 訪問調査校の評価



*次頁からの所見記述欄における記号意味

○⇒肯定的評価

●⇒課題

☆⇒要望・意見

1 横浜市立みなと総合高等学校(訪問調査日:平成 26 年6月 19 日)

訪問調査担当者：落合 優、鈴木 一男、北湯口 多賀子

みなと総合高校の概要

創 立：平成 13 年 11 月 住 所：横浜市中区山下町 231

課 程 等：全日制総合学科

クラス数：18 クラス（1 年次 6 クラス、2 年次 6 クラス、3 年次 6 クラス）

生 徒 数：709 名（1 年次 238 名、2 年次 237 名、3 年次 234 名）

学 校 長：宮崎 健

(1) 横浜市立高等学校教育振興プログラムの推進状況

| 観点 | 「選ばれる高校づくり」のための 10 の重点施策を推進しているか |
|----|--|
| 評価 | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | <input checked="" type="radio"/> A (十分満足できる) B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| 所見 | <p><国際教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ○国際交流活動を通して日常的に海外の生徒や文化に触れあうことができている。また、英会話に対する生徒の授業態度も能動的で、英会話力も優れている。 ○カナダ留学やブリティッシュヒルズ研修の事後プログラムでは、留学・研修体験の内容について一般生徒への伝達も行われている。 ○英語のみならず、第 2 外国語の授業が設定されており、希望により履修できるように配慮している。 ○国際交流に取り組む学校の状況を広く世界に発信するため、英語版のHPも開設している。 <p><キャリア教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合学科の特徴から、授業科目の履修・選択指導と進路指導、キャリア教育が密接な関係にあり、生徒が自らのライフプランに即した学習を主体的に進めるよう指導がなされており、生徒、保護者の満足度が高い。 ○職業体験や地域との連携・協力などが熱心に行われ、それにより生徒の社会人としての資質をはぐくんでいる。 |
| 観点 | 「特色ある高校づくり」のための新たな使命達成に向けた取組を推進しているか |
| 評価 | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | <input checked="" type="radio"/> A (十分満足できる) B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| 所見 | <ul style="list-style-type: none"> ○校長をはじめとし教職員の情熱によって、社会における実践力・国際性のある生徒が育っている。 ○国際交流活動については、カナダ姉妹校への留学、ブリティッシュヒルズ研修への生徒の参加、多数の留学生の受け入れなど活発な取り組みが進められている。受け入れ留学生の世話をする係(バディ)への応募者も年々増加し充実してきている。 ●教職員の教育振興プログラムでの使命達成に向けた取組について 15.8%があまりできていないと感じているのはどのような点で満足できないと感じてるのか掘り下げが必要である。 |

(2) 教育活動の状況

① 教育課程

| 観点 | 学校の実態、課程や学科の特色を十分考慮した教育課程の編成がされているか |
|----|---|
| 評価 | A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | <input checked="" type="radio"/> A (十分満足できる) B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| 所見 | <p>○総合学科の特徴を生かし、生徒が、個々の興味・関心や個性に応じて科目選択できるように多彩な授業科目が設定されており、履修に関するガイダンスも充実している。</p> <p>○少人数授業や習熟度別授業なども適切に運営されている。</p> |

② 教科指導

| 観点 | 生徒の実態を把握し、身に付けさせたい学力の定着を図るための適切な指導を行っているか。教員は授業力向上に努めているか |
|----|--|
| 評価 | A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | <input checked="" type="radio"/> A (十分満足できる) B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| 所見 | <p>○丁寧な指導・工夫により生徒の満足度は高い。</p> <p>●講義形式の授業が多い。対話やグループ活動、発表と組み合わせた授業を望む。</p> |

③ 特別活動・部活動

| 観点 | 生徒は主体的・自立的な活動を行い、学校は活動の活性化に努めているか |
|----|--|
| 評価 | A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| 所見 | <p>○生徒会活動の活発化、学校行事の開催、朝のホームルームの導入などにより、活発な活動へ向けての配慮がなされている。</p> <p>○施設面の問題があり、特に運動系の部活動への入部率は必ずしも高くないが、参加者は熱心に、自主的に取り組んでいる。</p> <p>●生徒会活動等については、生徒の満足度がやや低い。生徒会役員の意識は高いので、学校の特色を生かした工夫ができるとよい。</p> |

④ 生徒指導・教育相談

| | |
|----|--|
| 観点 | 生徒の生活習慣の確立や規範意識の形成に向けて教職員一丸となって取り組んでいるか |
| 評価 | A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| 所見 | <p>○生徒指導については教職員の共通理解を図りながら足並みを揃えて進めて行く必要があるが、難しさがある中で前向きに取り組まれている。</p> <p>○学習や生活の上での悩みなどが増加することも予想され、精神的側面での生徒支援が大切になってくるが、生徒理解研修、担任とスクールカウンセラーや養護教諭を交えた情報交換会、校内巡回などを充実させ、改善に向けた取り組みを行っている。</p> <p>○生徒自らが健康状態に気付き改善に向けた取り組みができることを目指し、指導・支援が行われている。保健だよりの活用や養護教諭と担任との情報交換などに加え、個々の生徒の健康情報の伝達方法の改善や個別対応のあり方について検討が進められている。</p> |

⑤ 進路指導

| | |
|----|---|
| 観点 | 進路指導が綿密に計画され、生徒の希望進路を叶える取組が行われているか |
| 評価 | A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | <input checked="" type="radio"/> A (十分満足できる) B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| 所見 | <p>○生徒個々の進路との関連を考慮し、公務員系、医療系などの進路先別ガイダンスや、資格取得の概要の紹介なども取り入れ指導している。</p> <p>○生徒が1年次から3年次までの見通しを立てた学習を進められるよう、各年次にわたり適切なガイダンスが行われている。</p> <p>○スタディサポートを導入するなど、進学のための学力面での支援を行うとともに、進学について保護者への情報提供も行っている。</p> <p>○生徒の満足度はかなり高く丁寧に計画的に行われている。</p> <p>●一部の生徒が、進路に関する情報が十分理解できていない。</p> |

<国際交流バディ募集の様子>



<折り紙での交流>



(3) 学校経営の状況

① 教育目標等の設定・実施

| | |
|----|---|
| 観点 | 教育目標が生徒や学校の実態を踏まえた内容であり、目標達成に向けて教職員は意欲的に取り組んでいるか |
| 評価 | A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | <input checked="" type="radio"/> A (十分満足できる) B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| 所見 | <p>○教育目標等について、教育目標が生徒に理解されつつあるが、教職員・生徒・保護者の間で理解度が一致していない。</p> <p>○教育目標は明確に設定されており、総合学科の特徴を踏まえ、その実現に向けた取り組みがなされている。</p> <p>☆教職員、生徒ともに、教育目標の実現に向けた取り組みを実践しているものの、取組が十分になされているという実感がやや薄い。日々の学習指導や学習活動を、教育目標との関連でどのように位置付けられるかという視点から捉えてみる事が望まれる。</p> |

② 保護者・地域等との連携協力

| | |
|----|---|
| 観点 | 学校から教育活動についての情報提供を行い、保護者及び地域との協力体制があるか |
| 評価 | A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | <input checked="" type="radio"/> A (十分満足できる) B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| 所見 | <p>○中華街の近くであるなど地域の特色を生かした取組がなされている。</p> <p>○保護者アンケートの結果を見ると満足度が高く、学校の教育活動に対して協力的な様子がうかがわれる。</p> <p>○保護者・地域等との連携協力については、PTA 広報誌などを通じて保護者に積極的に情報提供を行ったり、地域の行事やボランティア活動に参加するなどの取り組みを行っている。</p> <p>○学校の施設・設備を活用した公開イベント(プラネタリウム体験など)の開催による地域への貢献についても積極的に企画、実施している。</p> |

(4) 総合所見

| |
|--|
| <p>○教育振興プログラム・教育活動状況・学校経営の状況とも年々良くなり実行度が高まっている。</p> <p>○運動場が狭い・8階建ての校舎などの制約条件はあるが、温水プール・空調・広い食堂・豊富なフリースペースなど施設面においても、総合学科であることから、授業選択の状況によっては、生徒に多くの空き時間が生じるなどの学校の事情に見合った機能を果たしている。</p> <p>○実績ある国際交流プログラムに代表される国際理解教育も意欲的に継続、進展されている。</p> <p>○みなと総合高校の教育は、個性を生かした健全な若者の育成に貢献しようとする姿勢の現れであり、有意義な教育活動であると評価できる。</p> <p>○校内にリサイクルステーションを設置して、分別収集を徹底するなどリサイクルについての認識向上と実践を図っており、生徒も美化委員会を中心として環境問題に取り組んでいる。</p> |
|--|

2 横浜市立横浜総合高等学校(訪問調査日:平成 26 年6月 24 日)

訪問調査担当者：植田 みどり、小松 郁夫、鈴木 一男

横浜総合高等学校の概要

創 立：平成 13 年 11 月 住 所：横浜市南区大岡 2-29-1
 課 程 等：定時制・三部制・総合学科
 クラス数：34 クラス（Ⅰ部 12 クラス、Ⅱ部 11 クラス、Ⅲ部 11 クラス）
 生 徒 数：1,192 名（Ⅰ部 460 名、Ⅱ部 366 名、Ⅲ部 366 名）
 学 校 長：天野 真人

(1) 横浜市立高等学校教育振興プログラムの推進状況

| | |
|----|---|
| 観点 | 「選ばれる高校づくり」のための 10 の重点施策を推進しているか |
| 評価 | A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) <input checked="" type="radio"/> C (努力を要する) |
| | <input checked="" type="radio"/> A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) <input type="radio"/> C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) <input checked="" type="radio"/> C (努力を要する) |
| 所見 | <p>○校長を中心として管理職チームも計画内容等を理解した上で、それぞれの立場で担うべき役割を果たしている。</p> <p>○前勤務や後勤務という特有の勤務態勢により、教職員が組織的に取り組むことが困難な状況や、多様で複雑な課題を抱えている生徒への対応の困難さもあるが、掲げている目標はほぼ達成されている。</p> <p>○学力の向上やキャリア教育の充実といった面では、生徒の授業満足度が向上する等、着実に成果を挙げている。</p> <p>○学校運営に対する熱い情熱を感じられ、全ての振興プログラムが年々良い方向へと進捗している。</p> |
| 観点 | 「特色ある高校づくり」のための新たな使命達成に向けた取組を推進しているか |
| 評価 | A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) <input checked="" type="radio"/> C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) <input checked="" type="radio"/> C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) <input checked="" type="radio"/> C (努力を要する) |
| 所見 | <p>○定時制の総合学科、単位制、三部制という特色と使命を自覚した教育計画が立てられている。</p> <p>☆校舎移転という困難な状況を乗り切り、充実した施設・設備を活用した教育活動がスタートした。今後は、教育条件の向上を授業改善や生徒の自律的な活動の増進などに結びつけられる改革が期待される。</p> <p>☆三部制というユニークな学校制度を活用して、部ごとにきめ細かく特色ある学校づくりの活動を企画し、市民の大きな期待に応える組織的な取組を充実させてほしい。</p> |

(2) 教育活動の状況

① 教育課程

| 観点 | 学校の実態、課程や学科の特色を十分考慮した教育課程の編成がされているか |
|----|--|
| 評価 | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| 所見 | <p>○計画的業務遂行と組織的対応により校舎移転という環境の変化に対しても、大きな混乱も無くスタートできており、新教育課程への移行が円滑に進行できている。</p> <p>●科目選択では、生徒の選択希望と学校側が用意できる講座などで、思うようにマッチングが出来ずに、難しい履修調整などの指導をせざるをえなかったことは今後の課題と思う。</p> <p>●授業では、様々な工夫はなされてはいるが、まだ教員個人の能力に依存している面もあり、組織的な授業改善などの取組を行っていくことが必要である。</p> <p>●優れた授業がある一方で、一斉教授の授業方法が中心で、もっと生徒との双方向のやりとりや情報機器などを活用した授業の工夫が必要なものも見られた。今後は生徒の状況に合致した授業方法など授業改善に向けた研修等の対策が必要である。</p> <p>☆総合学科の場合は、生徒の学習意欲の喚起や早期での進路決定を織り込んだ履修指導などが年々難しくなっているようで、中学時代からの基礎学力の定着や向上を目指して、少し大胆な授業改善が求められる。</p> |

② 生徒指導・教育相談

| 観点 | 生徒の生活習慣の確立や規範意識の形成に向けて教職員一丸となって取り組んでいるか |
|----|---|
| 評価 | <input checked="" type="radio"/> A (十分満足できる) B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | <input checked="" type="radio"/> A (十分満足できる) B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| 所見 | <p>○定期的な校内巡回や校外での地域との交流を利用した生徒指導、マナー向上は徐々に成果を挙げてきている。</p> <p>☆移転に伴う新たな地域との交流活動は、生徒にとっては、他の大人との出会いなどの面でも成果が期待されるものであり、引き続き、活発化されることを期待したい。</p> |

③ 進路指導

| | |
|----|---|
| 観点 | 進路指導が綿密に計画され、生徒の希望進路を叶える取組が行われているか |
| 評価 | Ⓐ (十分満足できる) B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) Ⓑ (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) Ⓑ (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| 所見 | <p>○キャリア教育推進委員会、生徒情報交換会、自立支援委員会などの組織をつくり、指導上の困難さはありながらも、多様で複雑な課題を抱えている生徒に対し自己有用感を持たせながら学校生活の中で自分の進路を見つけることができるように、外部機関と連携しながら、積極的に取り組んでいる。</p> <p>○計画的な進路指導を行っているので、徐々にその成果が現れてきている。</p> <p>☆保護者への情報提供や説明会の開催などを積極的に進め、保護者と連携した進路指導、進路決定の質を向上させることを望む。</p> <p>☆高校の時期に精神的な強さを育成することが必要である。</p> |

(3) 学校経営の状況

① 組織運営及び教職員研修

| | |
|----|--|
| 観点 | 教職員が意欲的に業務に取り組める組織である。また、課題解決のための教職員研修が行われているか |
| 評価 | A (十分満足できる) Ⓑ (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) Ⓑ (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) Ⓑ (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| 所見 | <p>○前勤務や後勤務、非常勤の多さなど、全教職員が組織的に取り組むための条件としては難しい状況であるが、組織的に取り組むための意識や方策がとられている。教職員一人ひとりが組織構成員としての役割を自覚しながら、「チーム学校」として取り組むという対策を期待したい。</p> <p>○管理職とミドルリーダー層との意思疎通に改善が見られ、組織としての一体感が醸成されつつある。</p> <p>○管理職が持っている人材育成のビジョンや具体策が明確であり、異動が多いなどの困難を抱えつつも、着実に職員の資質・能力が向上している。</p> <p>☆教職員間での負担のアンバランスなどを改善し、「チーム学校」としての組織力を向上されることを期待する。</p> |

② 保護者・地域等との連携協力

| | |
|----|--|
| 観点 | 学校から教育活動についての情報提供を行い、保護者及び地域との協力体制があるか |
| 評価 | A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) <input checked="" type="radio"/> C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) <input checked="" type="radio"/> C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input type="radio"/> B (概ね満足できる) <input checked="" type="radio"/> C (努力を要する) |
| 所見 | <p>○校舎の移転に併せて、地域との連携や地域への貢献を意識した取組や学校評価への関与などに取り組むなど、地域との連携に取り組んでいる。</p> <p>○HP 等での学校情報の公開やわかりやすく見せる工夫などは、他校と比較しても評価できる内容のものになってきている。</p> <p>●保護者との連携については困難な点も抱えている。</p> <p>☆新しい地域での伝統を創る為にも、しっかりと計画を樹立し、着実に諸活動を推進してほしい。今後は、生き生きとした学校の様子、生徒の具体的な声などを反映させながら、連携協力が一層充実することを期待する。</p> |

(4) 総合所見

- 校舎移転という大事業を円滑に終了し、いよいよこれから伸びる学校ではないかと感じさせる成果などが徐々に出てきている。特色ある学校として、一段高い目標を掲げながら、これまで以上の成果と発展を期待する。
- 多様で複雑な問題を抱えた生徒を受け入れながらも、彼らが学校を安全で楽しい場と思えるように、校長や管理職チームが中心となり、生徒指導や進路指導、地域との連携に取り組んでいる。
- これからの高校に求められる「エンプロイアビリティ」の育成に向けたキャリア教育の充実にも、外部機関と連携しながら積極的に取り組んでいる。
- 生徒自身の意欲的な学びや活動の状況が垣間見られ、今後さらに生徒の自主性を尊重しつつ、確かな発展を歩み続けてほしい。
- 勤務体制などから学校全体で組織的に取り組むための困難さも抱えており、教職員が一丸となって統一した方針を持って組織的に取り組んでいるとまではいえない状況である。今後は、学校の状況にあった形で組織的に取り組むための意識改革や体制整備のあり方を検討してほしい。
- 生徒の選択希望と学校で開設可能な科目とのミスマッチなど教育課程編成上の課題や履修指導上の課題などがある。生徒の希望やニーズと合致した科目設定や、生徒の進路希望等にあった履修指導が実現するような指導体制の充実を期待したい。

<地域清掃活動>



<卒業生シンポジウム>



3 横浜市立戸塚高等学校定時制(訪問調査日:平成 26 年6月 25 日)

訪問調査担当者:北湯口 多賀子、小松 郁夫、坂野 慎二

戸塚高等学校定時制の概要

創 立:昭和 23 年 4 月 住 所:横浜市戸塚区汲沢 2-27-1
 課 程 等:定時制普通科
 クラス数:18 クラス(1年 6cl、2年 4cl、3年 4cl、4年 4cl)
 生 徒 数:404 名(1年 131 名、2年 95 名、3年 92 名、4年 86 名)
 学 校 長:長田 正剛 校長代理:増田 亨

(1) 横浜市立高等学校教育振興プログラムの推進状況

| | |
|----|---|
| 観点 | 「選ばれる高校づくり」のための 10 の重点施策を推進しているか |
| 評価 | A (十分満足できる) (B) (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) (B) (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) (B) (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| 所見 | <p>○多様な生徒を受け入れ、個々人の成長に向けて努力している。</p> <p>○「学力向上及び進路指導の充実」という点では、設定教科の「学び直し」での授業の工夫は着実に整備、充実してきている。個人ごとにいろいろな学習のつまづきなどが見られることから、丁寧な学力の状況把握などに一層工夫が必要と思われる。</p> <p>●「キャリア教育の推進」という面では、生徒自身にまだ目的意識や意欲に課題があるため、進路学習などでまだ課題が残されている。</p> |
| 観点 | 「特色ある高校づくり」のための新たな使命達成に向けた取組を推進しているか |
| 評価 | A (十分満足できる) (B) (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) (B) (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) (B) (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| 所見 | <p>○「学び直し」によって自分にあった学習指導をしてもらっているという満足感や喜びを感じ、学校への信頼も増している。今後も外部人材活用するなど工夫して継続充実を図ってほしい。</p> <p>☆進路については人的配置の面で苦慮している。定時制高校の意義や必要性について広く理解を得、学校の努力だけでなく横浜市全体で取り組んでいくべき課題である。</p> |

(2) 教育活動の状況

① 教育課程

| 観点 | 学校の実態、課程や学科の特色を十分考慮した教育課程の編成がされているか |
|----|--|
| 評価 | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| 所見 | <p>○伝統的に多彩な学校行事を企画・実施し、なんとか学校生活への定着と自己肯定感を涵養しようとする姿勢と努力は高く評価できる。</p> <p>○ガイダンスに関して、学年ごとに積み重ねを意識した指導を展開しており、一定の成果を挙げている。特に12月に行われる演劇祭での活動は注目される。</p> <p>○生徒の多様性に応じた授業内容の工夫がみられる。</p> <p>○基礎・基本の確実な定着について「学び直し」などの取組により成果を挙げている。</p> <p>●「学び直し」の機会を提供し、学習の個別化を進めている授業もあるが、それ以外の授業では、一斉教授中心の授業スタイルである。</p> <p>☆積極的に学ぼうとする生徒がいる反面、全くといって良いほど学ぶ意欲を喪失しているように見受けられる生徒も少なからず存在しており、特に教科指導で一層の創意工夫が期待される。</p> |

② 生徒指導・教育相談

| 観点 | 生徒の生活習慣の確立や規範意識の形成に向けて教職員一丸となって取り組んでいるか |
|----|--|
| 評価 | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| 所見 | <p>○生徒指導上、多様な背景を持っている生徒がおり、個別の対応について教職員の苦勞が窺える。入学前には、自分に対して、かなり自信を喪失しているかのように見受けられる生徒もおり、社会的自律、モラルの確立、就労指導といった点でも、困難を抱えている状況がある。教職員は、管理職のリーダーシップの下に、地道な努力を重ねており、困難を抱えながらも、着実に成果を出しつつある。</p> <p>○保健室を含めた生徒の相談にあたる一定の体制は構築されている。</p> <p>●生徒の多様性に応じた指導はなされているところもあるが、個々人の状況に合わせて統一的な指導体制にはなっていない。</p> |

(3) 学校経営の状況

① 教育目標等の設定・実施

| | |
|----|--|
| 観点 | 教育目標が生徒や学校の実態を踏まえた内容であり、目標達成に向けて教職員は意欲的に取り組んでいるか |
| 評価 | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| 所見 | <p>○教育目標の設定及び実現に向けての取組については、教員アンケートより 76～79%程度が実現できていると感じており、教職員は意識をもって取り組んでいる。</p> <p>○自己評価書から推察するに、教職員は的確に本校の現状と課題を把握している。</p> <p>○教職員相互に協力しながら指導にあたる優れた教員文化がある。</p> |

② 保護者・地域等との連携協力

| | |
|----|--|
| 観点 | 学校から教育活動についての情報提供を行い、保護者及び地域との協力体制があるか |
| 評価 | <input checked="" type="radio"/> A (十分満足できる) B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| 所見 | <p>○入学させてよかったという保護者が90%を超えており、円滑な協力関係が築かれている。</p> <p>☆就労している生徒も多い本校のような場合には、学校内外での生活に当たって十分に危機管理能力を高めておく必要がある。振興会を活用した保護者との連携は、保護者自身にとっても「癒やし」の場になっている側面もある。入学まで子育てに非常に苦労した保護者も少なからず存在しているので、こうした組織の果たす役割は重要である。</p> |

<地域清掃活動>



<演劇祭>



(4) 総合所見

- 4年間の学びを組織的、系統的に保証できている学校として、横浜市内では、非常に重要なミッションを実現している学校である。100%の成果の実現は非常に困難な状況にあるとは言え、管理職を中心として、本校に期待されている役割を実現しようとしている。
 - 「学び直し」は効果があるものと考えられる。他の授業でも学習の個別化を生かした授業が工夫されるとよい。
 - 学校の特徴から、教職員の異動が多く、また、他の学校と比較して、初任者が勤務するケースも多いので、管理職としては、学校改革の目的の共有化がなかなか難しい面もある。学校の現状、生徒の実態、保護者の期待などを総合的に把握して、一つひとつ目の前の課題にしっかりと向き合おうとする経営姿勢は評価できる。
 - 定時制では多様な生徒を受け入れている。その多様性を尊重した指導が行われているが、その対応は教職員の判断に任されており、組織的な活動とは言い難い。
 - 生徒個人への対応を教職員がそれぞれに行っており、生徒指導の統一的な方向性はまだ十分には打ち出されていない。
- ☆教務体制も教職員の勤務状況からして、やや無理な人員配置などを余儀なくされている部分があるので、教育委員会からの特別な配慮や支援なども必要ではないかと推察される。特に「交流センター」と言われる保健室の機能の充実は喫緊の課題だと思われる。本校の生徒のような場合は、他校と比較して、養護教諭の働きや役割も重要で、できるだけ複数配置などの特別な配慮も必要になってきていると考えられる。
- ☆居心地の良い学校となるよう、生徒間で対話できる環境をつくることが重要である。これまでは行事の準備を中心に、こうした取組がなされてきたが、入学後からそうした機会をつくる必要がある。
- ☆課題は、生徒の変貌する状況を理解し、教職員が協働して、学力の向上と就職支援などの進路保証に取り組むことではないかと思われる。特に、学力保証の点で、「学び直し」や補習・補講などの整備と充実、学習意欲を喚起できるような授業改善などに積極的に取り組むべきであろう。生徒会役員の生徒等からも、本校への満足度は向上しているように見受けられるので、きめ細かく具体的に彼等の成長を自覚させ、少しでも自主的、主体的な成長を促してほしいと思う。
- ☆冊子の作成やホームページの更新等、地道な努力を行っているが、より効果的に地域や保護者に情報が十分に伝える工夫が必要である。

4 横浜市立横浜商業高等学校別科(訪問調査日:平成 26 年6月 27 日)

訪問調査担当者：生田 麻実、植田 みどり、落合 優

横浜商業高等学校別科の概要

創 立：昭和 15 年 3 月 住 所：横浜市磯子区丸山 1-22-21
 課 程 等：別科（理容科・美容科）
 クラス数：4 クラス（1 年 2 クラス、2 年 2 クラス）
 生 徒 数：154 名（1 年 80 名、2 年 74 名）
 学 校 長：冨地 正博 校長代理：杉浦 正典

(1) 横浜市立高等学校教育振興プログラムの推進状況

| 観点 | 「特色ある高校づくり」のための新たな使命達成に向けた取組を推進しているか |
|----|--|
| 評価 | A (十分満足できる) (B) (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) (B) (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | (A) (十分満足できる) B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| 所見 | <p>○全国に一校という特殊で独自の目的を持った学校としての自覚を持った特色ある教育活動を展開している。</p> <p>○志願者の確保に向けた広報活動を活発に行い、成果を上げるとともにホームページでの情報公開にも努めている。</p> <p>○生徒も、自らの課題のために朝練習(早朝学習)や放課後学習を行うなど主体的・積極的に学習に取り組んでいる。また、多くの生徒に、単に専門的知識・技能を修得するだけでなく、社会に認められた人間として生きていこうとする認識が浸透している。</p> <p>○実習においては、少人数でのきめ細かい指導が行われており、生徒一人ひとりに対する個別の指導も可能となっている。</p> <p>○将来に向けては、より質の高い教員の配置、実習機材の充実・更新、教科指導方法の改善、生徒指導体制の見直しなどが課題となるが、課題の改善に向けた取組を継続的に図っている。</p> <p>○国家試験に全員合格させるという目標が明確であり取組は推進されていると見受けられる。</p> <p>☆横浜市立の高校の別科としての意味合いを自覚し、民間の専門学校との違いをより鮮明にした教育活動を展開することを期待したい。</p> |

<敬老を祝う会(地域交流)>



<コンテストに向けての練習風景>



(2) 教育活動の状況

① 教科指導

| | |
|-----------|---|
| 観点 | 生徒の実態を把握し、身に付けさせたい学力の定着を図るための適切な指導を行っているか。教員は授業力向上に努めているか |
| 評価 | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | <input checked="" type="radio"/> A (十分満足できる) B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| 所見 | <p>○生徒一人ひとりの知識・技能の修得状況、それぞれの個性を把握した指導が行われている。また学習内容が将来の専門職にとってどのようなつながりを持つかが明確に示されており、学習意欲を喚起している。</p> <p>☆教科指導の方法は、講義形式が多くなっているが、指導効果の面では十分に機能している。ただ将来的には、ICTの利用、アクティブラーニングの採用などを検討する必要がある。</p> <p>☆技術革新などに対応するために、教員も積極的に外部からの情報を入手したり、専門性の高い非常勤講師などを採用するなどの工夫がなされているが、高額な機器なども多く、施設面での対応は十分とはいえない。ニーズに無理なく対応できる解決策があると良い。</p> |

② 生徒指導・教育相談

| | |
|-----------|---|
| 観点 | 生徒の生活習慣の確立や規範意識の形成に向けて教職員一丸となって取り組んでいるか |
| 評価 | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | <input checked="" type="radio"/> A (十分満足できる) B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| 所見 | <p>○生徒が国家試験合格という目標に向かって、真剣に取り組んでいる姿勢が感じられた。接客業ということもあるが「人としてどうあるか」という教育が、よくなされている。</p> <p>☆年齢や入学までの経歴も多様な生徒が在籍していることを考えると、個々の抱えている状況に丁寧に対応した指導を期待したい。特に、中学校卒業直後に入学する生徒への対応は慎重に検討してほしい。</p> <p>☆生徒が相談する教員が、担任や養護教諭に限定されている傾向があり、相談体制の整備や情報の共有化がより進められることが望まれる。</p> |

(3) 学校経営の状況

① 教育目標等の設定・実施

| | |
|-----|--|
| 観 点 | 教育目標が生徒や学校の実態を踏まえた内容であり、目標達成に向けて教職員は意欲的に取り組んでいるか |
| 評 価 | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| | A (十分満足できる) <input checked="" type="radio"/> B (概ね満足できる) C (努力を要する) |
| 所 見 | <p>○小規模な教職員組織であるが故に、ある特定の教職員に負担がかかっていたが、それを解決するための取組を今年度から始めている。</p> <p>○専門職としての豊富な知識と技能を持ち、社会の中で信頼される人材を育成するという目的に向け、教職員一人ひとりが学習指導に当たっている。</p> <p>○国家試験の課題や時代のニーズに合わせるため、外部講師を依頼したり、座学の質の向上を図るために他教科の研修会に出席するなど努力を感じられる。常勤の教員が少なく異動がないのが良くもあり悪くもある。</p> <p>☆担当する教科について、適切な人材を配置しているが、理美容業界にも年々新しい技術や機材が採用されるなど変化が著しいこともあり、学習機材の更新等に加え他の養成施設との交流を含めた学校内外での研修をより進めることが望まれる。</p> |

(4) 総合所見

| |
|--|
| <p>○「これからの理容・美容業界を担う職業人としての認識を深めさせ、知識・技能と教養を備えた生徒を育成する」という目標に向け、適切な教育課程が編成され、学習指導が展開されている。生徒も、自らの進路を明確に認識しており、意欲的に学習している。</p> <p>○1学科定員40名という小規模の学校の特徴が、学習指導、生徒指導等において十分に生かされている。指導に当たる教員の多くが卒業生であるということも、教員の指導意欲が高いことにつながっている。</p> <p>○学校規模が小さく、教員相互の連携もとりやすいという利点が随所に反映されているが、一方で、校務分掌の偏りや組織的な連携体制の不十分さという傾向をもたらしている。学校は、この点について今後の検討課題として認識し改善に向けて努力している。</p> <p>○生徒は公教育の中で学んでいることを意識しており、意欲も高く勉強している。</p> <p>○職業が多様化し、様々な分野の専門学校がある中で、理容・美容に特化したY校別科に歴史があり温かい教育の場であることが強く感じられた。</p> <p>○国家試験の合格という最終的な進路目標があるので、教職員も生徒も意識が高い。しかし、多様な年齢や経歴の生徒がいるので、それぞれが持つバックグラウンドに対応した進路指導等の対応を期待したい。</p> <p>○地元の老人ホームへの訪問を行って散髪したり交流するなど地域との連携や地域への貢献に積極的に取り組んでいる。</p> <p>●美容科の就職活動について、学校紹介が都内に比べて遅く、自分で探さなければならないケースもあり、不安を感じているとのこと。改善を望みたい。</p> <p>☆下は中卒から上は社会人経験者までの幅広い年齢の生徒が、少人数の学校で、ハードな練習や環境で問題なく学校生活を送れるようにしてほしい。</p> <p>☆理美容業界でも、年々機材や知識・技能に変化が生じており、こうした変化に効果的に対応し学習効果を高めていくためには、学習機材の更新や、教員の研修が継続して行われる必要がある。</p> |
|--|